

林道工事検査基準

※検査基準にない工種については、森林整備保全事業工事標準仕様書施工管理基準出来形管理基準の規格値により検査する。(規格値内を合格とする)

区分	工種	項目	検査箇所の基準	合格の基準	摘要	
土	中心線	交角	全I.Pの10%以上	±30分以内	コンパスの場合は±1度以内	
		I.P間の距離	全I.P間の10%以上	L ≤ 40m	±20cm以内	
				L > 40m	±0.5%以内	
		T.L, S.L	I.P検査箇所	±10cm以内		
		測点間の距離	1kmについて5箇所以上	±10cm以内		
	中心線の寄り	測点検査箇所	±10cm以内			
	施工基面高	施工基面高	1kmについて1箇所以上～1箇所5点以上	±10cm以内(余盛は別途加味する)		
	切土工	幅員	100mについて1箇所以上 (100m未満2箇所)	-10～+20cm以内	ただし、個々の測定値が規格値を超えた場合でも構造上支障がないと認められる場合は合格とすることができる	
		路面の仕上げ状況	〃	通り、すり付け等なじみよく、不都合がない場合	凹凸の程度、根株、転石基岩の露出、切りすぎの場合の埋戻し状態	
		法勾配	〃	±5厘以内		
法長		〃	SL < 5m	-20cm以内	ただし、個々の測定値が規格値を超えた場合でも構造上支障がないと認められる場合は合格とすることができる。	
			SL ≥ 5m	-4%以内		
小段		〃	±10cm以内(幅)			
仕上げ状況		〃	安全と認められる場合	凹凸の程度、浮石等仕上げの状態		
土質判定	〃	妥当と認められる場合				
工	盛土工	幅員	100mについて1箇所以上 (100m未満2箇所)	-10～+20cm以内	ただし、個々の測定値が規格値を超えた場合でも構造上支障がないと認められる場合は合格とすることができる	
		路面の仕上げ状況	〃	通り、すり付け等なじみよく、不都合がない場合	凹凸の程度、転石類の露出、肩さがり、路肩の通り等仕上げ状態	
		法勾配	〃	±5厘以内		
		法長	〃	SL < 5m	-10cm以内	
				SL ≥ 5m	-2%以内	
		小段	〃	-10cm以内(幅)		
		仕上げ状況	〃	安全と認められる場合	凹凸の程度、締固め、法尻処理、取付部分の処理	
盛土材料	〃	妥当と認められる場合				

区分	工種	項目	検査箇所の基準	合格の基準	摘要		
土	土取場	位置	全土取箇所	指定箇所であるとき	切土工に準ずる		
		整理の状況	〃	不都合がない場合			
	残土処理場	位置	運搬残土、残土処理箇所の20%以上	指定箇所であるとき	盛土工に準ずる		
		幅	〃	-10cm以内			
		法勾配	〃	±5厘以内			
		法長	〃	SL<5m		-10cm以内	
				SL≥5m		-2%以内	
		小段	〃	-10cm以内(幅)			
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合				
	工	路盤工 (上層・下層)	敷長	100mlに1箇所以上(100m未満2箇所)	±10cm以内	平均値は設計値以上であること	
敷幅			〃	-5cm以内			
敷厚			〃	-10%以内			
品質・規格			〃	仕様に適合する場合			
仕上げ状況			〃	不都合がない場合	敷均し、転圧の状況を含む		
法	植生工 (種子吹付工) (植生マット工) (植生基材吹付工) (客土吹付工)等	延長	施工箇所の20%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)	吹付面の凹凸が著しい場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上とする		
		法長	〃	SL<5m		切土箇所-20cm以内 盛土箇所-10cm以内	
				SL≥5m		切土箇所-4%以内 盛土箇所-2%以内	
		厚さ	200m ² に1箇所の割合(200m ² 未満は2箇所)	t<5cm t≥5cm		-1cm以内 -2cm以内	
		植被率	1,000m ² に1箇所の割合	70%以上			
		種の配合等	施工面積の20%以上	仕様に適合する場合		書面による審査を含む	
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合		仕上がりがムラの有無等	
	面工	モルタル吹付工	延長	施工箇所の30%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)	吹付面の凹凸が著しい場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上とする	
			法長	〃	SL<3m		-5cm以内
					SL≥3m		-10cm以内
			厚さ	200m ² に1箇所の割合(200m ² 未満は2箇所)	t<5cm t≥5cm		-1cm以内 -2cm以内
		仕上げ状況	施工箇所の30%以上	不都合がない場合			
	法	法枠工	延長	施工箇所の30%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)	不都合がない場合	
			法長	〃	SL<10m		-10cm以内
					SL≥10m		-20cm以内
幅			〃	-3cm以内			
高さ			200m ² に1箇所の割合(200m ² 未満は2箇所)	-3cm以内			
枠中心間隔				±10cm以内			
仕上げ状況	施工箇所の30%以上	不都合がない場合					

区分	工種	項目	検査箇所の基準	合格の基準	摘要	
法 面 工	特殊配合 モルタル吹付工	延長	施工箇所の30%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)		
		法長	"	-2%以内		
		接着強度(A・B)	吹付日ごとに3個以上	$\sigma 28$ 0.8N/mm ² 以上とする。	1回の試験結果が全て設計基準強度の80%以上であること 測定用モルタルブロックは(20mm立法体フック金具付)とする	
		接着強度(C)	500m ² につき3個以上	$\sigma 28$ 0.8N/mm ² 以上とする。		
		"(注入モルタル)	2000ℓにつき5個以上	$\sigma 28$ 0.5N/mm ² 以上とする。 平均強度が設計基準強度を上回る場合		
		重ね合わせの程度	施工箇所200m ² に1箇所の割合	10cm -20%		
		金網の結束間隔	施工箇所200m ² に1箇所の割合	重ね合わせがある場合 30cm+20% 重ね合わせがない場合 10cm+20%	金網	
		アンカー釘	特モル(A)(B)	施工箇所200m ² に1箇所の割合	1箇所(2m×2m)で設計本数以上	
			特モル(C)	(200m ² 未満は2箇所)	1箇所(2.5m×4.0m)で設計本数以上	
		吹付量	植生基材吹付	施工箇所200m ² に1箇所の割合 (200m ² 未満は2箇所)	所定厚の-30%以内	測定した吹付厚(量)の平均値は設計値以上であること 吹付面の凹凸が著しい場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とする
			特殊配合モルタル(A)(B)	施工箇所200m ² に1個の割合 (200m ² 未満は2個)	所定量の-20%以内 (植物繊維供試体 10cm×10cm)	
			"(C)	施工箇所200m ² に1箇所の割合 (200m ² 未満は2箇所)	t<5cm -1cm以内 t≥5cm -2cm以内	
			植生基材吹付	施工箇所の30%以上	植生工に準ずる	種の配合等
			仕上げ状況	"	不都合がない場合	仕上がリムラの有無等
石・ ブロック積(張)工	コンクリート ブロック積(張)工 石積(張)工	延長	施工箇所の30%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)		
		法勾配	"	±3厘以内		
		法長	"	L<3m -5cm以内		
			"	L≥3m -10cm以内		
		厚さ	"	-2cm以内(裏コンクリート厚含む)		
		厚さ(石積)	"	-5cm以内		
		厚さ(裏込礫)	"	-3cm以内		
		積石寸法	"	仕様に適合する場合		
		胴込・裏込コンクリートの品質	"	品質良好で突固めが十分の場合		
		裏込礫の品質	"	仕様に適合する場合		
	仕上げ状況	"	不都合がない場合			
	岩座張工	延長	施工箇所の20%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)		
		法勾配	"	-5厘以内		
		法長	"	-10cm以内		
仕上げ状況		"	不都合がない場合	コンクリート使用の場合はブロック積工等に準ずる		

区分	工種	項目	検査箇所の基準	合格の基準	摘要	
かご・かご枠等	鉄線かご かごよう壁 簡易鋼製土留擁壁	布設延長	施工箇所の20%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)	個数換算又はテープによる測定とする 工場製品寸法は規格証明書等による	
		布設高	〃	-10cm以内		
		かごの規格	〃	仕様に適合する場合	長・幅・高の寸法、番線、網目のチェックを含む	
		中詰礫の品質・規格	〃	〃		
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合	変形の有無を含む	
安 全 施 設 等	落石防護柵工等 鋼製擁壁工等	延長	施工箇所の50%以上	L<10m	-5cm以内	
				L≥10m	-0.5%、最大-10cm以内	
		法長(高さ)	〃	-5cm以内		
		厚さ	〃	-20cm以内	裏込材料厚を含む	
		使用鋼材の品質・規格	〃	仕様に適合する場合		
		中詰材料の品質	〃	〃		
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合	落石防止柵の支柱間隔を含む		
	落石防止網工	区間長	施工箇所の30%以上	L<10m	-10cm以内	
				L≥10m	-1%、最大-20cm以内	
		縦・横ロープ間隔	〃	-10cm以内	縦ロープの間隔は最大延長の箇所で測定する	
		法長	〃	-2%以内		
		材料の品質・規格	〃	仕様に適合する場合		
		法面整理	〃	不都合がない場合	浮石の有無、伐採区域の確認を含む	
		アンカーボルトの 布設状態	〃	〃		
	〃強度	〃	仕様に適合する場合			
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合	ネットの架設等を含む		
	ガードレール	ガードレール	延長	施工延長20%以上	-10cm以内	
			ビーム取付高	〃	-2cm+3cm以内	
			基礎幅	〃	-3cm以内	
			基礎高	〃	-3cm以内	
			材料の品質・規格	〃	仕様に適合する場合	
			仕上げ状況	〃	幅員が確保され、著しい狂い等がない場合	
	ガードケーブル	ガードケーブル	延長	施工延長20%以上	-10cm以内	
			ケーブル取付高	〃	-2cm+3cm以内	
基礎幅			〃	-3cm以内		
基礎高			〃	-3cm以内		
基礎延長			〃	-10cm以内		
材料の品質・規格			〃	仕様に適合する場合		
仕上げ状況	〃	幅員が確保され、著しい狂い等がない場合				

区分	工種	項目	検査箇所の基準	合格の基準	摘要	
排水施設工事	側溝(素堀)	延長	40mについて1箇所以上(40m未満2箇所)	-0.1%最大-20cm以内		
		高さ(深さ)	〃	-5cm以内		
		幅	〃	-5cm以内		
		仕上げ状況	〃	通りよく安定している場合		
	側溝(プレキャスト)	延長	40mについて1箇所以上(40m未満2箇所)	-20cm以内(1箇所/1施工箇所)	個数換算又はテープによる測定とする 工場製品寸法は規格証明書等による	
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合		
	側溝(現場打ち)	延長	40mについて1箇所以上(40m未満2箇所)	-20cm以内(1施工箇所毎)		
		厚さ	〃	-2cm以内		
		幅	〃	-3cm以内		
		高さ(深さ)	〃	-3cm以内		
	暗渠工	延長	施工箇所の50%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)	個数換算又はテープによる測定とする 工場製品寸法は規格証明書等による 明視できない部分については、写真等による	
		排水管等規格	〃	仕様に適合したもの		
		深さ	〃	-3cm以内		
		幅	〃	-5cm以内		
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合		
	横断溝渠 (コンクリート・鋼製)	延長	施工箇所の50%以上	-0.1%最大-20cm以内	個数換算又はテープによる測定とする 工場製品寸法は規格証明書等による	
		高さ(深さ)	〃	-2cm以内		
		幅	〃	-3cm以内		
		厚さ	〃	-1cm以内		コンクリート製に適用
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合		呑・吐口の処理状況、伏設方向、通りを含む
	洗越工	長さ	施工箇所の50%以上	-20cm以内	縦断方向	
高さ(厚さ)		〃	-5cm以内			
幅		〃	-3cm以内	横断方向		
仕上げ状況		〃	不都合がない場合			
コンクリート管工 (ヒューム管を含む)	延長	施工箇所の50%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)	個数換算又はテープによる測定とする 工場製品寸法は規格証明書等による		
	たわみ	〃	1%以内			
	内径	〃	仕様に適合したもの			
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合		基礎、埋戻し、通り、変形を含む	
コルゲートパイプ 合成樹脂管	延長	管径2.0m以上:全箇所 管径2.0m未満:施工箇所の50%以上	-0.1%最大-20cm以内	個数換算又はテープによる測定とする 工場製品寸法は規格証明書等による		
	変形量	〃	正規直径の±5%以内			
	スパン	〃	±2%以内		アーチ型に適用	

区分	工種	項目	検査箇所の基準	合格の基準	摘要	
排水 施設	コルゲートパイプ 合成樹脂管	板厚・内径	管径2.0m以上:全箇所 管径2.0m未満:施工箇所の50%以上	仕様に適合したもの		
		たわみ	〃	施工延長の1%以内		
		ボルトの締付け	〃	十分に締付けられているとき		
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合	布設勾配、布設方向、通り(縦、横方向)を含む	
設 工	プレキャスト カルバート	延長	全施工箇所	-20cm以内(1施工箇所毎)	個数換算又はテープによる測定とする 工場製品寸法は規格証明書等による	
		高さ	〃	-3cm以内(現場打ち部分のある場合)	〃	
		幅	〃	-5cm以内(現場打ち部分のある場合)	〃	
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合	品質の確認を含む	
擁 壁 工	コンクリート擁壁	延長	施工箇所の50%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)		
		高さ	〃	$h < 3m$	-5cm以内	
				$h \geq 3m$	-10cm以内	
		幅	〃	-3cm以内		
		厚さ	〃	-2cm以内		
		法勾配	〃	±2厘以内		
		表面強度	〃	平均強度が設計基準強度を上回る場合	1箇所の測定強度は設計基準強度の85%以上	
		注水検査	〃	減水量が3cm/m/60分以内のもの	必要に応じ実施する	
	配筋	〃	仕様に適合している場合	鉄筋の組立時に実施する		
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合			
	補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強 土工法)	延長	施工箇所の50%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)		
		高さ	〃	$h < 3m$	-5cm以内	
				$h \geq 3m$	-10cm以内	
厚さ		〃	-5cm以内(1層当たり)			
鉛直度		〃	±0.03hかつ±300以内			
控え長さ		〃	設計値以上			
仕上げ状況	〃	不都合がない場合				
プレキャスト 擁壁工	延長	施工箇所の50%以上	-20cm以内(1施工箇所毎)	個数換算又はテープによる測定とする 工場製品寸法は規格証明書等による		
	高さ	〃	-5cm以内			
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合			
基礎 工	基礎工	延長	施工箇所の30%以上	-20cm以内		
		幅・高さ	〃	-3cm以内		
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合		
	基礎・裏込工	延長	上部構造物の検査箇所	各構造物の規格値による		
		厚さ	〃	-3cm以内		
		幅	〃	設計値以上		

区分	工 種	項 目	検 査 箇 所 の 基 準	合 格 の 基 準	摘 要	
橋	下 部 工 (橋 台) (橋 脚)	基 準 高	全施工箇所	±2cm以内		
		厚 さ	"	-2cm以内		
		橋 台 (天 端 幅)	"	-1cm以内	橋軸方向	
		橋 脚 (天 端 幅)	"	-2cm以内	"	
		橋 台 ・ 橋 脚 敷 幅	"	-5cm以内	" (橋台・橋脚底面幅)	
		橋 台 ・ 橋 脚 天 端 長	"	-5cm以内	橋軸直角又は斜角方向	
		橋 台 ・ 橋 脚 敷 長	"	-5cm以内	" (橋台・橋脚底面長)	
		橋 台 ・ 橋 脚 高 さ	"	-5cm以内		
		橋 台 胸 壁 高 さ	"	-3cm以内		
		胸 壁 間 距 離	"	±3cm以内	胸壁前面間、胸壁前面と橋脚中心間 又は橋脚と橋脚の中心間の距離	
		橋 脚 中 心 間 距 離	"	±3cm以内		
		支間長及び中心線の変位	"	±5cm以内		
		きポ支規格トの値 アンカ 箱抜き	計 画 高	"	+1~-2cm以内	
			平 面 位 置	"	±2cm以内	箱抜き形状の詳細については「道路橋支 承便覧」による
			アンカーボルト孔の鉛直度	"	1/50以下	
		橋 軸 の 偏 心 量	"	±5cm以内		
		法 勾 配	"	±2厘以内		
		表 面 強 度	"	平均強度が設計基準強度を上回る場合	1箇所の測定強度は設計基準強度の85%以上	
		注 水 検 査	"	減水量が3cm/m/60分以内のもの	必要に応じ実施する	
		配 筋	"	仕様に適合している場合	鉄筋の組立時に実施する	
		仕 上 げ 状 況	"	不都合がない場合		
工	上 部 工 (鋼 橋) (床 版) (T 桁) (P C 桁)	橋 長	全施工箇所	鋼 橋 ±(20+L/5)mm以内	L= 全長(m)	
			鋼橋以外	±3cm以内		
		幅 員	"	0~+3cm以内		
		舗装面(平坦性、耐水性)	"	不都合がない場合		
		床 版 厚	"	-1cm、+2cm以内		
		そり(キャンバー)	鋼 橋	±(25+L/2)mm以内	L= 主桁の支間長(m)	
			鋼橋以外	-0cm、+3cm以内		
		地 覆 幅	"	-1cm~+2cm以内		
地 覆 高	"	-1cm~+2cm以内				

区分	工種	項目	検査箇所の基準	合格の基準	摘要	
橋	上部工 (鋼橋) (床版) (T桁) (PC桁)	コンクリート強度	全施工箇所	平均強度が設計基準を上回る場合	テストピース・シュミットハンマーを含む	
		配筋(品質・規格)	〃	仕様に適合する場合	鉄筋の組立時に実施する	
		桁類(品質・規格)	〃	〃	鋼橋・T桁・PC桁に適用	
		接合	継手・横桁	〃	〃	鋼橋に適用
			横締	〃	〃	PC桁に適用
		配水管、沓、高欄	〃	〃	該当事項に適用	
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合	面取・水切・塗装を含む		
	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据付け高さ	全施工箇所	±0.3cm以内		
		表面の凹凸	〃	+0.3cm以内		
		仕上げ高さ	〃	舗装面に対し0~-0.2cm以内		
	梁	支 承 工 (ゴム支承)	据付け高さ 注1)	全施工箇所	±0.5cm以内	B:支承中心間隔(m) 上部構造部材下面とゴム支承面との接触面及びゴム 支承と台座モルタルとの接触面に肌ずきが無いことを 確認 支承の平面寸法が300mm 以下の場合は、水平面の高 低差を1mm 以下とする。なお、支承を勾配なりに 据付ける場合を除く 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する 注2) 可動支承の遊間(La,Lb)を計測し、支承据付時 のオフセット量δを考慮して、移動可能量が道路橋支 承便覧の規格値を満たすことを確認する 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施 する 詳細は、道路橋支承便覧参照
			可動支承の移動可能量 注2)	〃	設計移動量+10以上	
			支承中心間隔 (橋軸直角方向)	〃	コンクリート橋 ±0.5cm以内 鋼橋 4+0.5×(B-2)	
			下沓の 水平度	橋軸方向	〃	
橋軸直角方向				〃	〃	
可動支承の橋軸方向のずれ 同一支承線上の相対誤差			〃	5		
可動支承の移動量 注3)	〃	温度変化に伴う移動量計算値の1/2 以上				
工	鋼橋塗装工	塗 膜 厚	塗装終了時に測定 1ロットの大きさは500m ² とする 1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測 定は5回行い、その平均値をその点の測定値 とする ただし、1ロットの面積が200m ² に満たない場 合は10m ² ごとに1点とする	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20% 以下 ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場 合はこの限りではない		
		使 用 量	〃	全使用量		
		塗 装 の 種 類	〃	仕様に適合する場合		
		仕 上 が り 状 況	〃	不都合がない場合	塗装手順、塗残し、塗膜欠陥等をチェックする	
舗	下 層 路 盤	基 準 高	200mについて1箇所以上(200m未満2箇所)	±5cm以内	基準高は、道路中心線及びその端部で測定する	
		幅 (延 長)	〃	-5cm以内		
		厚 さ	〃	-4.5cm以内	厚さの測定値の平均は、-1.5cm以内とする	
	上 層 路 盤	粒 度 調 整	幅 (延 長)	200mについて1箇所以上(200m未満2箇所)	-5cm以内	
			厚 さ	〃	-3cm以内	厚さの測定値の平均は、-1.0cm以内とする
		セメント 安定処理	幅 (延 長)	200mについて1箇所以上(200m未満2箇所)	-5cm以内	
			厚 さ	〃	-3cm以内	厚さの測定値の平均は、-1.0cm以内とする
		石 灰 安定処理	幅 (延 長)	200mについて1箇所以上(200m未満2箇所)	-5cm以内	
			厚 さ	〃	-3cm以内	厚さの測定値の平均は、-1.0cm以内とする
		歴 青 安定処理	幅 (延 長)	200mについて1箇所以上(200m未満2箇所)	-5cm以内	
厚 さ	〃		-2cm以内	厚さの測定値の平均は、-0.7cm以内とする		

区分	工種	項目	検査箇所の基準	合格の基準	摘要	
舗装工	表層	幅(延長)	200mについて1箇所以上(200m未満2箇所)	-2.5cm以内	設計図書、仕様書、出来高図等と照合平坦性については溜水を生じないこと 厚さの測定値の平均は、-0.3cm以内とする 厚さの測定値の平均は、-0.35cm以内とする	
		厚さ	〃	-0.9cm以内(アスファルト舗装) -1.0cm以内(コンクリート路面工)		
	踏掛版工(袖コンクリート)	各部の長さ	施工箇所の50%以上	±3cm以内	ただし、個々の測定値が規格値を超えた場合でも構造上支障がないと認められる場合は合格とすることができる	
		厚さ	〃	±2cm以内		
		仕上がり状況	〃	不都合がない場合		
木製構造物	柵工	延長	施工箇所の20%以上	L<10m	-20cm以内	その他は仕様に適合する場合
				L≥10m	-2%以内	
		柵高	〃	-3cm以内		
		杭の末口径	〃	-10%以内		
		杭間隔	〃	20cm以内		
		杭の使用本数	〃	(延長/杭間隔)+1本以上		
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合			
	木製土留・擁壁工	延長	施工箇所の20%以上	-10cm以内(1施工箇所毎)		
		法勾配	〃	-5厘以内		
		法長又は高さ	〃	-10cm以内		
		材料の品質・規格	〃	仕様に適合する場合		
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合		
	呑口保護工	柵長	施工箇所の20%以上	-10cm以内		
				柵高	〃	-3cm以内
		杭の末口径	〃	-10%以内	その他は仕様に適合する場合	
		杭間隔	〃	10cm以内		
		杭本数	〃	設計値以上		
		仕上げ状況	〃	不都合がない場合		
	吐口保護工	敷設長	施工箇所の20%以上	-10cm以内		
				幅	〃	-3cm以内
杭の末口径		〃	-10%以内	その他は仕様に適合する場合		
杭間隔		〃	10cm以内			
杭本数		〃	設計値以上			
仕上げ状況	〃	不都合がない場合				
路面排水工	敷設長	施工箇所の20%以上	-10cm以内			
	材料の品質・規格	〃	仕様に適合する場合			
	仕上げ状況	〃	不都合がない場合			